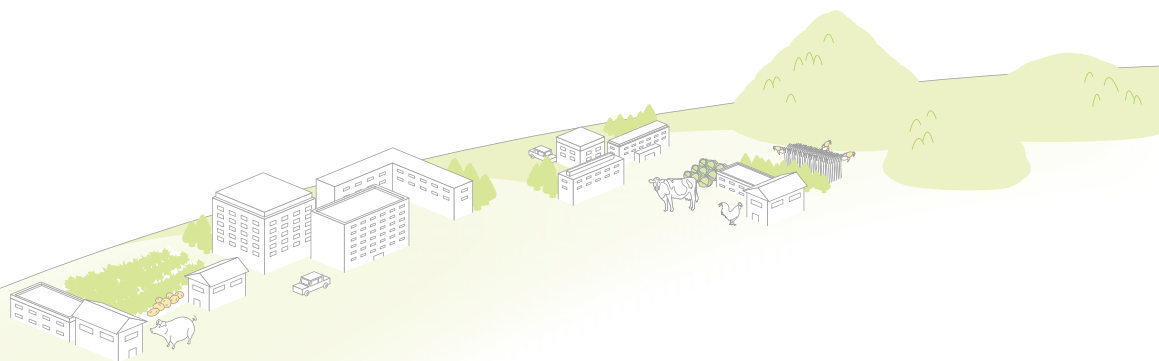


IR HAND BOOK

第62期 事業のご報告 (2010.4.1...2011.3.31)



人を豊かに、地球を美しく

ひと目で分かる 松田産業

「地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献すること」を企業理念に、

- 限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用を図る貴金属事業
- きれいな環境を次世代に引き継ぐ環境事業
- 地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する食品事業

の3事業を中心に展開しています。

貴金属関連事業

貴金属事業

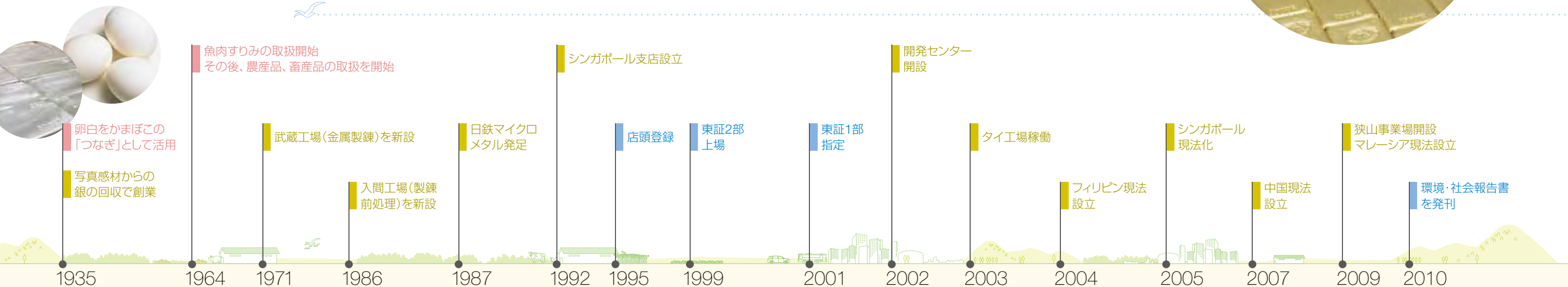
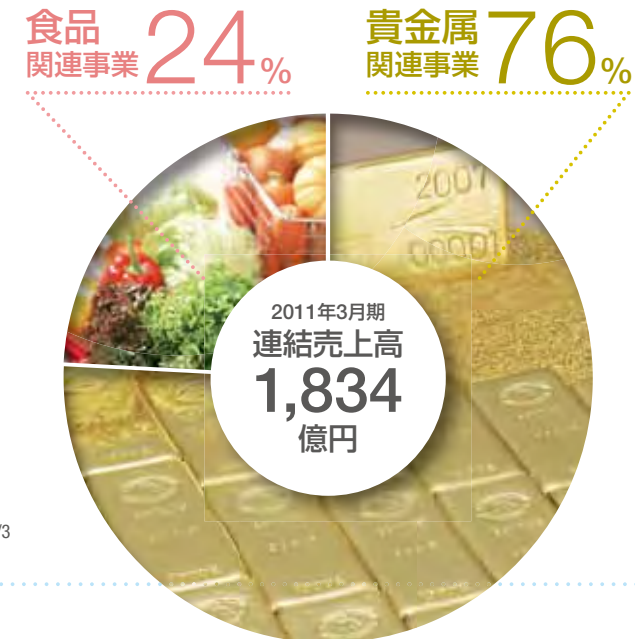
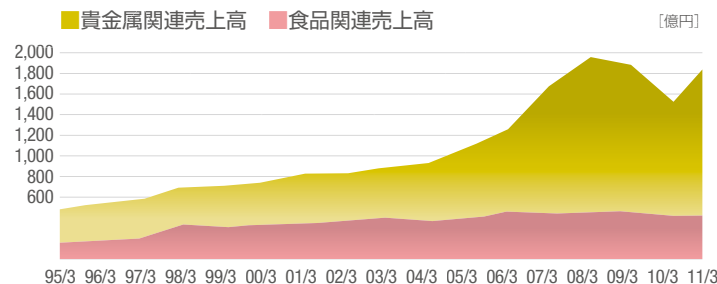
- 貴金属地金製造
- 貴金属化成品製造
- 貴金属リサイクル
- 治具精密洗浄
- 半導体・電子部材販売

環境事業

- 感材銀リサイクル
- 産廃収集／運搬
- 無害化中間処理
- VTR(真空加熱分離装置)

食品関連事業

- 水産品
- 畜産品
- 農産品
- 品質保証
- 物流



当社グループは、貴金属関連事業を拡大・成長の牽引役部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた中長期経営戦略を展開しています。

当誌に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、決算短信が発表された2011年5月13日現在に当社が入手していた情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

持続的成長へ向けた 事業基盤拡大を着実に進めています

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、

皆様の安全と一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。

ここに、当社の2011年3月期(2010年4月1日～2011年3月31日)のIR HAND BOOKをお届けいたします。

本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2011年3月期の業績と配当につきまして

新興国の内需拡大等を背景に、主力顧客であるエレクトロニクス業界の生産が期を通じて高水準に推移し、当社グループも幅広い顧客ニーズに対し積極的な営業活動を展開したことなどから、2011年3月期の連結業績は、売上高は前期比17.3%増の1,834億94百万円、営業利益は同27.1%増の60億51百万円となりました。経常利益は同23.7%増の61億36百万円、当期純利益は同24.3%増の36億29百万円となりました。このような業績の回復を受け、期末配当金につきましては、期初の予定通り1株当たり12円とし、第2四半期末配当金12円と合わせた年間配当金は、前期と同額の24円といたしました。

持続的成長に邁進します

東日本大震災の影響による製造業のサプライチェーン復旧の遅れや、夏場の電力供給不足の懸念など、事業環境の先行きは不透明感が強まっております。しかしこのような状況においてこそ当社グループは、「地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献すること」という企業理念を改めて胸に刻み、貴金属関連事業を拡大・成長の牽引役部門、食品関連事業を安定的成長部門と位置付けた中長期経営戦略に取り組み、持続的成長を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 松田 芳明



マレーシア工場
2011年秋稼働予定

タイ

蘇州

入間/武蔵工場

台湾

マレーシア
シンガポール

フィリピン

- 国内工場
- 海外現地法人
- 提携会社

東アジアにおける事業基盤の拡大が 着々と進んでいます

新興国需要の高まりや円高の進行を背景に、部品供給基地としての東アジアの重要性は、ますます高まっています。当社は「東アジアNo.1のリファイナー」を目指し、シンガポール、タイ、フィリピン、中国、マレーシアに拠点を設けてきました。そして本年秋にはマレーシアで、製錬設備を備えた工場が稼働する予定です。これにより当社グループの貴金属回収製錬事業の基盤は、さらに拡大する見込みです。

ビジネスモデル [貴金属関連事業の仕組み]



品質保証

貴金属関連事業の中核部門として品質に関わる業務の大半を手がける生産本部では、2005年7月に、「顧客満足第一」「製造技術基盤向上」「全員参加」「PDCAの貫徹」の4本柱からなる「品質方針」を制定し、2006年3月に「半導体製造装置などの精密洗浄」と「めっき薬品の製造」の2分野でISO9001の認証を取得しました。同年7月には貴金属事業部もISO9001認証を取得しました。これらを基軸とする品質管理体制により顧客からの信頼性を高め、事業機会の増大につなげてまいります。



ISO9001の登録証(複製)

松田産業の強み

- 創業以来70余年間蓄積された高度な技術、ノウハウで、前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族を中心に確実に回収する技術力の高さと取扱高は常に業界トップクラス
- メッキ用化成品などエレクトロニクス業界向け製品を多彩に開発・製造・販売するほか、産業廃棄物処理も引き受ける、トータルリサイクルサービスを提供
- 全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可を取得

戦略課題と重点施策

戦略課題	重点施策と注力ポイント	
海外拠点の強化	マレーシア工場の立上げ 台湾提携先の活用	注力ポイント 東アジア拠点網の整備
国内拠点の整備	入間地区の拠点整備	注力ポイント 設備更新・能力増強
製品・技術の開発	回収技術力の強化 精密洗浄能力の向上 メッキ液等の新商品開発	注力ポイント 製品販売と原料回収による相乗効果

業績概況 (2011年3月期)

売上高 139,863百万円 前期比 18.0% 増

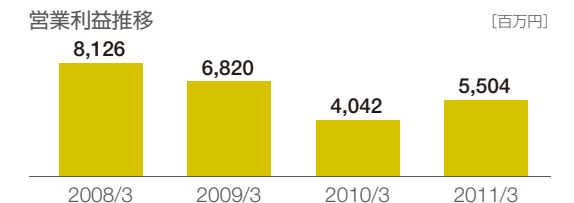
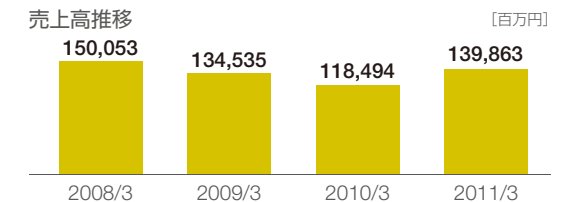
営業利益 5,504百万円 前期比 36.2% 増

貴金属部門

- 海外での自動車・家電や通信・IT機器に対する需要の伸び、およびエコポイント制度など政策効果に支えられた国内の堅調な需要を反映し、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が好調に推移
- これを受け貴金属化成品等の販売量や貴金属原材料回収も、高水準を継続
- 貴金属相場も年間を通じて上昇

環境部門

- 顧客の生産に関わる廃棄物の排出量は増加傾向となり、取扱量・売上高は前期に比べ増加

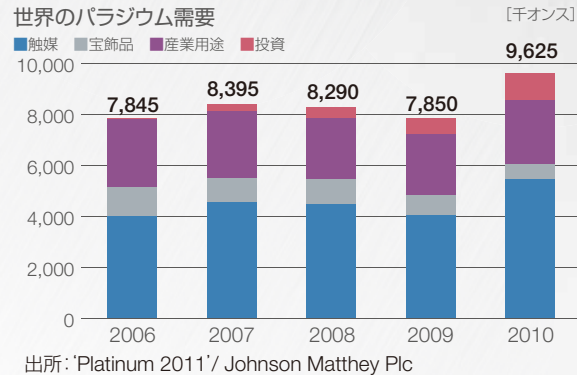


特集 松田産業が扱うモノ Pd パラジウム

プラチナと同じ白金族として、代表的なレアメタルのひとつであるパラジウムは、種々の工業用素材として利用されるほか、表面の光沢が美しく加工が容易であることなどから、宝飾品も含め幅広い分野で活用されています。

拡大する需要

2010年のノーベル化学賞を受賞したのは、パラジウムを用いて複雑な有機物を合成する、「クロスカップリング反応」についての研究でした。この研究は社会貢献度が高く、その成果は現在、医薬品や電子部品などで実用化されています。それ以外にもパラジウムの用途は幅広く、現在、半導体など電子材料向けや、自動車の排ガス浄化装置向けに需要が拡大しています。また歯科治療で使われるいわゆる「銀歯」にも、通常20%程度のパラジウムが含まれています。



松田産業のパラジウム関連ビジネス

松田産業はパラジウムにおいても高度な製錬技術により確実に回収製錬を行うとともに、メッキ用化成品や地金を製造・販売しています。技術力の高さと取扱高は業界でも常にトップクラスにあり、お客様からも高い評価と厚い信頼をいただいています。今後もより高品質な化成品の開発や、販売・回収の強化に取り組み、さらなる成長を図っていきます。



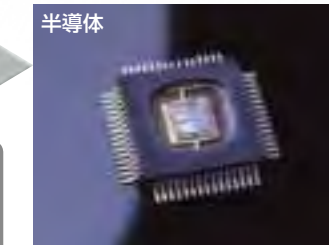
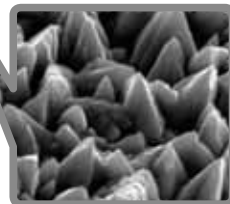
松田産業のパラジウム地金
松田産業のパラジウム地金は高品質が保証された地金として、各国で流通しています。



パラジウムメッキ液「パラシグマ」

松田産業のパラジウムメッキ液は、半導体リードフレーム、電子部品、その他装飾品全般のパラジウムメッキに利用されています。

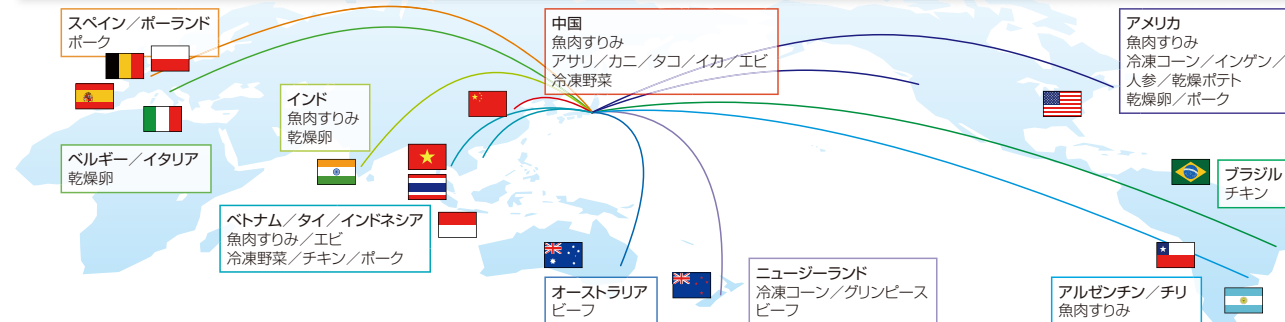
リードフレームにパラジウムメッキを施すことで、工程削減によるコスト削減を実現。



「パラシグマ」によってミクロン単位で形態制御された皮膜表面

事業セグメント別情報 食品関連事業

世界各国から食資源を調達 [食品関連事業の仕入ソース]



市場、業界環境

- 食の安全・安心への関心の高まり
- 農業および食品添加物への法的規制の強化
- 新興国の経済成長に伴う食資源調達競争の激化
- 低価格志向、中食・内食志向の高まり

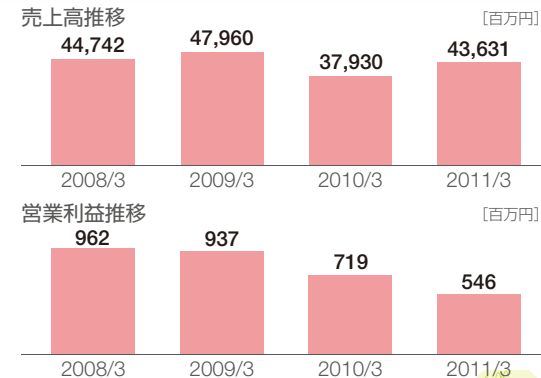
松田産業の強み

- 食品専門商社として、世界各国の仕入ネットワークを通じユーザーの求める商品を調達
- ユーザーが最も使いやすい形態・ロットでフレキシブルに一次加工
- 品質保証室による産地指導、品質規格書の発行やトレーサビリティでサービスを差別化

戦略課題と重点施策

- 安心・安全な商品の安定供給のためのさらなる品質管理の徹底、トレーサビリティの強化
- 仕入先との関係強化、新規商材・新産地の開拓による業務用食品原料の販売拡大
- 惣菜売り場などをターゲットとした中食・内食業界への販売強化

業績概況(2011年3月期)



- 国内の低価格志向の高まりや消費の低迷が続く一方、世界的な食材の値上がりという厳しい事業環境で推移
- すりみなど水産品、野菜類等農産品は販売数量の増加により売上高は前期比増加
- 鶏卵や鶏肉等の畜産品も数量増と単価アップにより売上高は前期比増加
- 東日本大震災関連の在庫損失や与信費用で約2億50百万円の損失計上

連結財務諸表のポイント

業績・配当の推移

[百万円]

損益計算書(要約)	当期 2010.4~2011.3	前期 2009.4~2010.3	増減	増減率
売上高	183,494	156,424	+27,070	17.3% ▲
営業利益	6,051	4,762	+1,289	27.1% ▲
経常利益	6,136	4,961	+1,175	23.7% ▲
当期純利益	3,629	2,921	+708	24.3% ▲

貸借対照表(要約)	当期 2011.3.31	前期 2010.3.31	増減	キャッシュ・フロー計算書(要約)	当期 2010.4~2011.3	前期 2009.4~2010.3
流動資産	45,256	42,509	+2,747	営業活動による キャッシュ・フロー	3,656	△711
固定資産	15,786	13,924	+1,862	投資活動による キャッシュ・フロー	△3,209	△1,450
流動負債	18,686	19,016	-330	財務活動による キャッシュ・フロー	2,079	△1,675
固定負債	4,006	1,842	+2,164	現金及び現金 同等物の期末残高	6,609	4,103
純資産	38,349	35,574	+2,775			
総資産	61,042	56,433	+4,609			

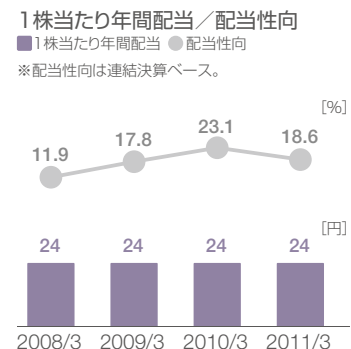
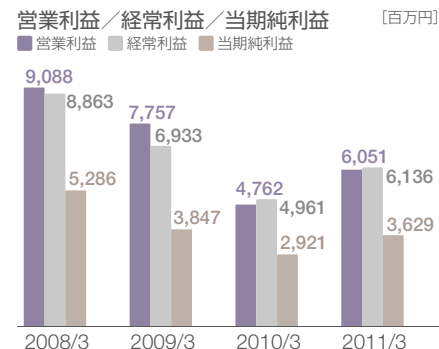
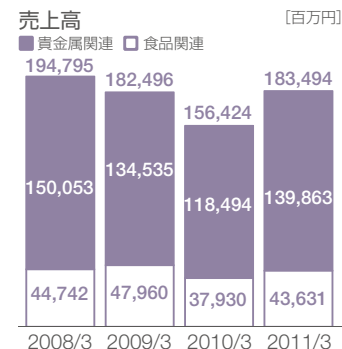
詳細な財務諸表等をご覧になりたい方は、当社ホームページ「投資情報」の決算短信をご参照ください。

松田産業

検索

▶ トップ画面 ▶ 投資情報

業績・配当の推移



Information

グループ会社概要

平成23年3月31日現在

	会社名	事業内容
貴金属関連	マツダ環境(株)	貨物自動車運送
	北海道アオキ化学(株)	産業廃棄物の収集・運搬および処理、金属原料の回収・販売
	日本メディカルテクノロジー(株)	金属原料の回収・販売
	ゼロ・ジャパン(株)	真空加熱分離装置(VTR)の設計・製造・販売および保守
	Matsuda Sangyo (Thailand) Co., Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Philippines) Corporation	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	Matsuda Sangyo (Singapore) Pte. Ltd.	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	松田資源利用(蘇州)有限公司	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
食品関連	Matsuda Sangyo (Malaysia) Sdn. Bhd. (株)日鉄マイクロメタル	金属原料の回収・販売、貴金属製商品の販売
	マツダ流通(株)	電子工業用金属製品の製造・販売 貨物自動車運送および食品加工原材料の販売

事業所

平成23年3月31日現在

- 貴金属事業部
 - 本部/仙台/水戸
 - 東京/入間分室
 - 川崎/甲府
 - 長野/名古屋
 - 大阪/金沢
 - 福山/福岡
 - 鹿児島
- 食品事業部
 - 本部/仙台
 - 塩釜/いわき
 - 東京/小田原
 - 名古屋/大阪
 - 福岡
 - 品質保証室
- 環境事業部
 - 本部/仙台
 - 埼玉/東京
 - 神奈川
 - 名古屋/大阪
 - 福山/福岡
- ◎ 生産本部
 - 武蔵工場
 - 武蔵第二工場
 - 入間工場
 - 入間第二工場
 - 開発センター
- 海外拠点
 - シンガポール(現地法人)
 - タイ(現地法人)
 - フィリピン(現地法人)
 - マレーシア(現地法人)
 - 中国・蘇州(現地法人)
 - 中国・青島(駐在員事務所)

会社概要

平成23年3月31日現在

商号 松田産業株式会社
 本社所在地 東京都新宿区西新宿1-26-2
 設立年月日 昭和26年6月18日
 資本金 3,559百万円
 従業員数(連結) 870名
 主な事業内容 貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、
 食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
 会計監査人 新日本有限責任監査法人

役員一覧

平成23年6月29日現在

代表取締役社長	松田 芳明	取締役	山崎 隆一
取締役副社長	對馬 浩二	取締役	伊藤 康之
専務取締役	徳永 庸夫	取締役	馬場 信明
常務取締役	細田 顕治	監査役(常勤)	内山 敏彦
常務取締役	片山 雄司	監査役	谷 哲夫
取締役	田代 芳孝	監査役	石原 猛男
取締役	船本 正則	監査役	熊坂 博幸
取締役	佐々木 隆茂		

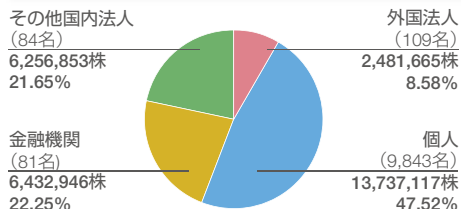
株式の状況

平成23年3月31日現在

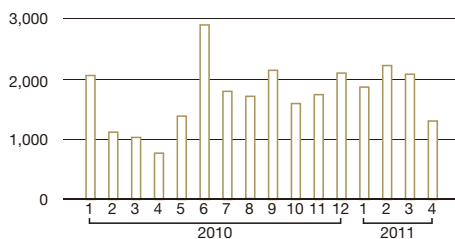
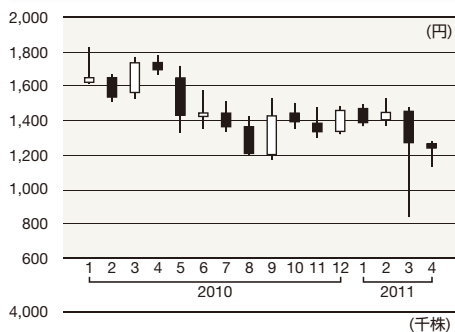
株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	28,908,581株
株主数	10,117名

株式の分布状況

平成23年3月31日現在



株価・出来高推移



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

	お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
特別口座に記録された株式	▶特別口座から一般口座への振替請求 ▶単元未満株式の買取(買増)請求 ▶住所・氏名等のご変更 ▶特別口座の残高照会 ▶配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
	▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
証券会社等の口座に記録された株式	▶郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ▶支払期間経過後の配当金に関するご照会 ▶株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
	▶上記以外のお手続き、ご照会等口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

株主優待



- 対象株主
毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。
- 優待の内容
一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。
- 贈呈の時期
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

 **松田産業株式会社**

証券コード: 7456

東京都新宿区西新宿1-26-2新宿野村ビル
TEL 03-5381-0001 (代表)

